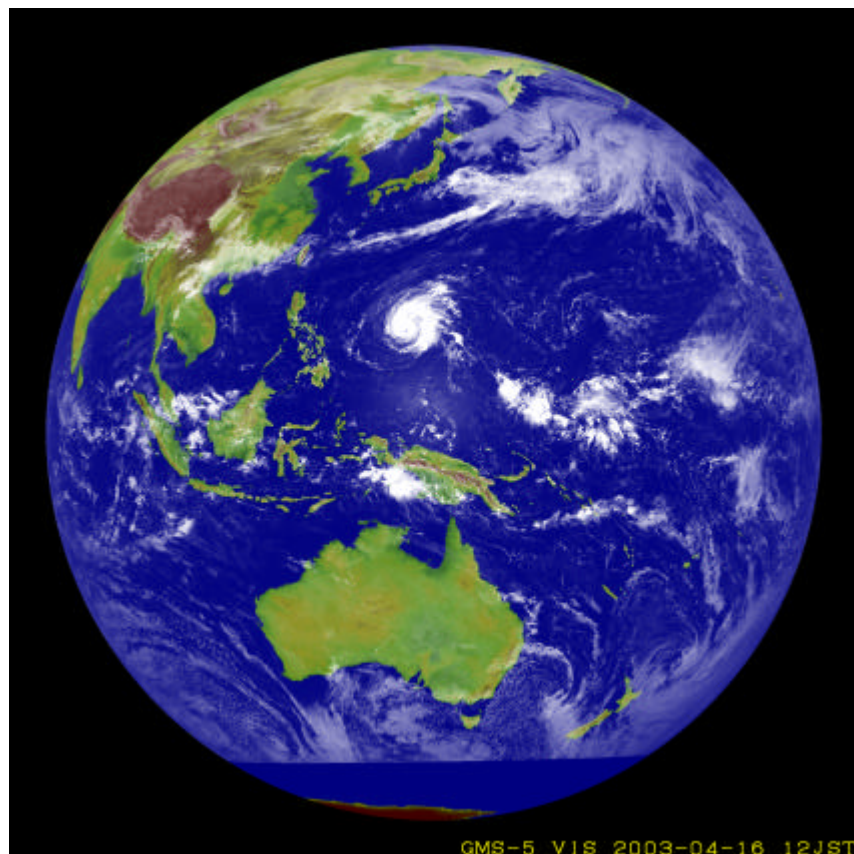


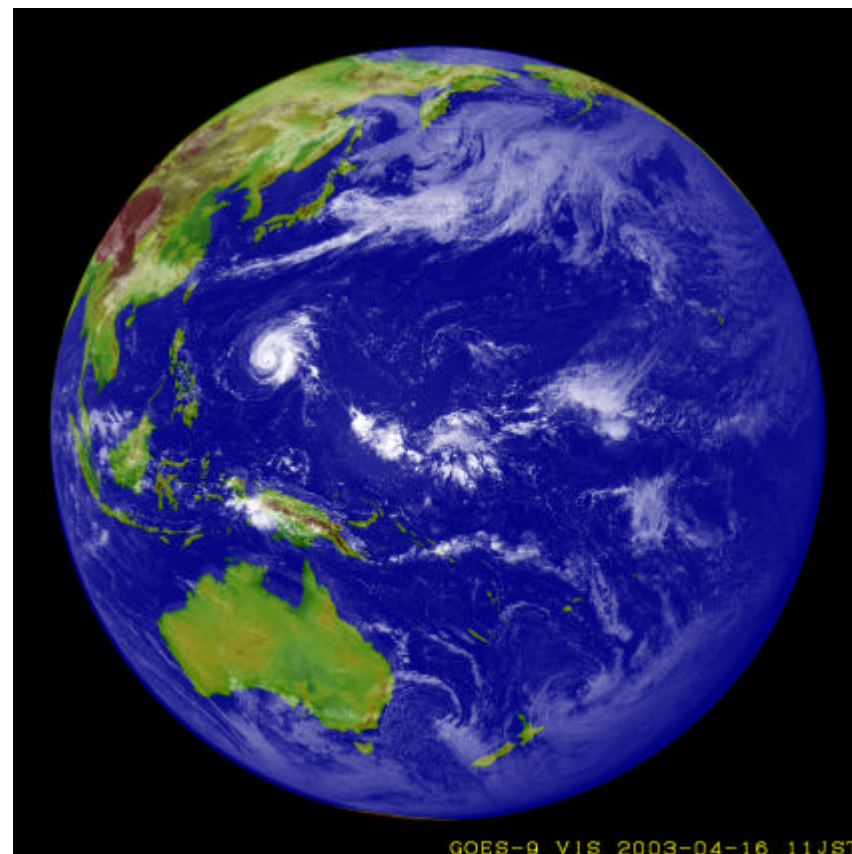
米国の静止気象衛星「ゴーズ9号」の運用開始について

1. 設計寿命を越えて運用を続けている「ひまわり5号」のバックアップとして、「運輸多目的衛星新1号」が運用を開始するまでの間、米国の静止気象衛星を活用することについては、昨年5月に日米両国の間で交換公文が締結された。
2. 米国海洋大気庁の静止気象衛星「ゴーズ9号(GOES-9)」は、昨年12月にメキシコの南の赤道から西に向けて移動を開始し、今月20日に西太平洋上において観測が可能なモードに移行した。
3. 「ゴーズ9号」は、今後各種の試験を実施した後、5月22日に「ひまわり5号」から西太平洋の観測を引き継ぐ予定である。これにより、引き続き的確な気象情報の内外への提供を図ることができるようになる。
4. この衛星の正式名称は「ゴーズ9号(GOES-9)」である。同衛星を西太平洋上で運用の間は、我が国内における愛称は、「パシフィックゴーズ」とする。

「ゴーズ9号」と「ひまわり5号」の可視画像



ひまわり5号
2003年4月16日12時(日本時間)



ゴーズ9号
2003年4月16日11時(日本時間)

現在、ひまわり5号は、北半球については1時間毎の観測を行っているが、南半球については南緯49度以北を3時間毎に限定している。ゴーズ9号により、北半球・南半球全体の1時間毎の観測が可能となる。
ゴーズ9号による上記画像はインターネットで入手可能 (URL:<http://mscweb.kishou.go.jp/new/index.htm>)。